

取扱い注意

電動ぶどう巻き取る取りの開発 について

ニッケンかみそり株式会社

■企画に至る経緯①

ワイン醸造用のぶどうの農家より、栽培休眠期明けの「巻きつる除去」を楽にしたいというお声をいただきました。



■企画に至る経緯②

【問題の箇所】



ぶどうは成長するにつれて“つる”を伸ばすため、ぶどう樹にはワイヤーが引いてある。休眠期でもぶどう樹は成長を続け、ワイヤーに巻きつくが、この巻きつる内は害虫や細菌が越冬するための温床になってしまう。このまま新たな栽培を始めるとぶどうが病気になったり悪影響を及ぼす可能性がある。

以上の理由から農家は、栽培シーズン(4月～)に入る前には全ての巻きつるを除去する必要があるが、巻きつるは非常に数が多く、またつる自体も硬いため、この作業除去はぶどう農家にとって大きな負担になっている。

■企画に至る経緯③

【現在の処理方法】

※長野県塩尻市や山梨県広州市のブドウ農家様を中心に現地ヒアリングを敢行しました。



はさみをワイヤーと平行に当ててカットしている
ワイヤーに残った切りくずは手で取り除く

■解決すべき問題点

“栽培休眠期のぶどう樹誘引用の
ワイヤーに巻きついたつるを楽に除去したい“

考慮すべき点

- ① 巻きつるを取り除くのに適した形状・機能のツールであること
- ② 作業者の身体負担が緩和されること
 - ※ 作業効率アップ、手首に掛かる負担低減
- ③ ワイヤーを道具でキズつけないこと

■企画概要 使用シーン

・毎年12月～翌4月頃
ぶどう休眠期から栽培期へ向
けて、全ぶどう樹の巻きつる除
去を行うとき

ツルを挟み込むた
めのトング



内部にモーターが内蔵、スイッチ
を入れると刃体が回転し、ツルを
切る構造。です

ユーザーのメリット

- ・これまでの農業用はさみと違い、無理なくダイレクトに巻きつるを除去できる
- ・無理なく軽い力で巻きつるを取り除くことが出来るので、体への負担も低減できる
- ・現状の方法と比較して剪定を行った時に、電動の方が早く切ることができた→負担低減

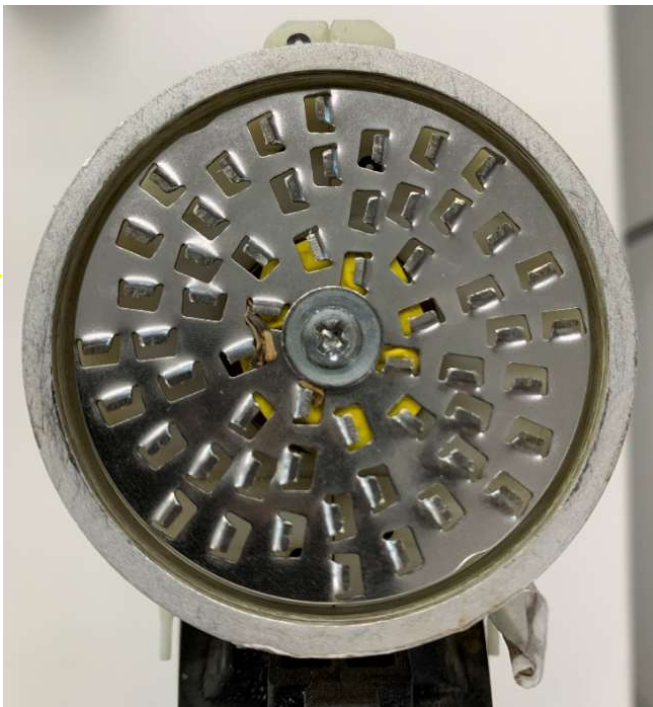
■製品詳細

■出願構造

①刃がワイヤーに当たらない構造



②全体の構造（ぶどうのツルを固定して、
削り切る）



重量約600g

ニッケンかみそり株式会社
開発営業課:三輪拓也

[TEL:0575-22-1611](tel:0575-22-1611)

EMAIL:t-miwa@nikkenkamisori.co.jp